

編集室より

- ◇ 先月号では今年に岡山に台風が多く来る年ではないかと警告をしたら14号に続いて台風20号が又又岡山めがけて猛進してきた。今年にはいつて上陸した2つの台風が全部岡山を通ろうとは驚いたことである。史上空前といわれる今年の豊作だが、この台風でどうなることか。鶏卵の異常な安値で音を上げた矢先、米作までも痛手を蒙りたくないものである。
- ◇ 台風とか災害といった場合実に機敏の処置をとられて舌を巻かしていた三木岡山県知事も今は亡き人となってしまった。巨星突如として落つのがこんなに身近に感じたことはないであろう。緑と太陽と空間の町、人造りに全生涯をかけ、岡山県を日本一の県に育てあげた偉人、三木行治氏の急死は緑が赤に変わり、太陽が見えなくなり、急に空間が狭くなったような感をぬぐいきれない。我々は空気のように、偉大な知事がいることをあたりまえとして、この10余年甘えもし、やんちやもいつてきたが、大規模草地事業に始まる岡山県の畜産の飛躍的發展も、故三木知事の精根かたむけた情熱の遺物である。名知事亡きあと畜産行政にも少なからず穴があくのではないかと危懼されるが、偉大な業績を枯らすことのないよう我々1人1人の力で進めていきたいものである。
- ◇ 故三木知事の偉さは行政力や着想力だけにあつたのではない。より一層深い人間性にあつたといえる。こんな話がある。県のある課長がクビになった。その課長「さんざん人を利用しておきやがってこん畜生どなり込んで来てやる」といきまいて知事室に入った。知事と逢つたとたん気持が変つた。「どうもお世話になりました、今後共よろしく。」と礼をいって引き下がってきたという。権威以上に大きな人間性に圧倒されたのである。ドイツの詩人にゲーテという人がいたのをご存知であろう。ノーベル賞級以上の偉人である。このゲーテがポーランドの首相をやつたことがあるのは余り知られていないが、余りの権威にねたましさを覚えたあるボスが、生意気な奴だとどなり込みに入った、ところがゲーテがなかなか出てこないのボスは益々癪をたてて真赤になっていた。そこへ「長くお待ちせしました」とゲーテが出てきた。とたんにボスはワツと声を上げて泣いてしまったという。予期以上の偉大さに圧倒されて平伏したい気持になつたためであろう。それ以来ボスはゲーテの心酔者になつたと「ゲーテとの対話」という書物に書いてある。故三木知事もゲーテ並の偉大さをもつていたという逸話の1つであろう。
- ◇ 農業の規模拡大、近代化資金の貸付などで畜産施設も随分立派なものが各地にみられるようになった。ある所で近代化資金の融資をうけて多大の費用かけをて鶏舎を建てた。農業改良普及所と相談し近代技術の料をあつめて作つた鶏舎の床のセメントから水のにじみ出るのを発見したという。この地帯は耕地狭わいで段々畑になっているところ、結局鶏舎より高いところにある水田の水がサイフォンの原理でふき上げて来たということがわかつたのであるが、これには「ように往生した」と普及所の先生方もいつていた。新潟地震ではないが基盤に至るまで深慮を及ぼす必要があることを経営規模が大きくなる程大切であると教えらる。こんな場合でも故三木知事は深慮をし、ソツなくやる人であつた。偉大な知事三木行治氏の急亡に対し、編集室よりも皆さまと共々、喪心より冥福をお祈り申し上げたいと思います。

本誌の予約申込要領

誌代 一部 50円 (送料共)

年間予約 600円 (送料共)

但し一部購入の場合は増頁号の誌代をその都度の価格とし、年間予約者は増頁特集号の分も一部50円のサービス価格です。

岡山畜産便り 1964.09

集団申込の特典

10部以上を一括で年間予約する方は一部誌代を45円にします。百部以上を一括で年間予約する方は一部誌代を40円に割引きます。但しこの場合は一括購読ですから個人別発送は致しません。

申込方法

同封の振替用紙に代金を添え住所氏名明記の上申込んで下さい。

集団申込は代表者の名で何人分かを明記、誌代合計金額を払込んで下さい。但し申込みは前金を建前としております。

申込先

岡山市桑田1丁目2番地

社団法人岡山県畜産会管理普及課

(電話) 岡山 2-8575 番

(口座番号) 岡山 1303 番